

事業所における自己評価結果 (公表)

公表：令和 6年 3月 日

事業所名 キララこども園

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5		・支援内容によって保育室の利用の仕方を工夫している。	
	②	職員の配置数は適切である	5		・職員1人1人のスキルが今よりアップすれば適切な人数だと感じる。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5		・障害特性に応じ、部屋の装飾等華美にならないようにしている。玩具等は使用する時に出すようにしている。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5		・毎日給食後、帰園後に清掃・消毒をしている。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4	1	・ミーティングを行っている。 ・目的や内容に応じた職員で話し合いが行われている。	・前よりも職員間での話し合いが少なくなってしまったので改善していきたい。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5		・年に1度実施し、意向を把握し、改善に努めている。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5		・事業所内掲示板で公開している。 ・アンケートの結果等、玄関のコルクボードに公開している。 ・こども園教室前に貼り出している。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		5		・第三者評価は行ってない。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5		・研修の機会があり、年に2～3度学ぶ機会がある。	・社内での研修も充実させていきたい。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5		・利用開始時に年2回の面談等においてアセスメントを実施し相談支援員等の意見も聞きながら作成している。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5		・基本をポータージのチェックリストを使用している。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5		・児童発達支援ガイドラインに則し、対象児にとって必要で分かりやすい支援内容を設定するように心がけている。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5		・児発管や相談支援専門員と課題について共有し、計画内容をふまえて支援を行っている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	5		・毎日出勤後、プログラムについて話し合い、1日の流れを決めている。 ・その日の流れを朝に職員間で話し合っている。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5		・固定化しないように違うプログラムを組むようにしている。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5		・午前中は主に集団活動、午後は個別でできるような支援プログラムを立てている。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	1	・訪問前に児発管や相談支援専門員等と支援内容や配慮事項等について話し合い、確認している。 ・出勤後確認し、分担し動くようにしている。	・支援内容は把握しているが、打ち合わせを充分に行っているとはいえないので今後改善していきたい。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	1	・児発管や相談支援専門員、こども園の職員等と訪問時の様子や必要な支援等について話し合ったり共有したりしている。 ・帰園後、反省等共有している。 ・その日の子どもの状況を伝え合い、次の日どうするかを話し合っている。	・毎日とはしていないので今後改善していきたい。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	1	・訪問や個別の学習について記録し、課題や共有すべき事項を検討している。 ・毎日日報で記録をしている。 ・日報を毎日書き、その日のあったことを記録している。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5		・年2回程度モニタリングを行い、見直しをしている。	
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5		・児発管、担当者が出席している。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5		・保健センターへ出向いたり、来て頂いたりして連携を図っている。	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	2	1	・未回答2 ・医療的ケア児はいない。	
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	2	1	・未回答2	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	⑳	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5		・必要に応じて、話し合いの場や情報共有の場を設けたり、児によっては保育所等訪問支援を利用し、移行に向けた支援を行っている。	・保育所等訪問を行っているが、ご理解いただけない園もあるのでご理解いただけるよう努めていきたい。
	㉑	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5		・2～3月頃特別支援学校の先生方と移行会議を行っている。	
	㉒	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	1	・コロロの研修に参加し、プロの先生方から指導を受けている。	
	㉓	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	5		・同じ建物内にある小規模保育園との合同イベントなどで交流がある。	
	㉔	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	5		・自立支援協議会子ども部会に参加している。	
	㉕	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5		・訪問時の様子をふまえて、個別学習の内容に反映している事等を伝えている。また園、訪問先、家庭での様子等を共有できるように話している。 ・登園・帰園時に保護者と話し共有し、連絡帳で話すようにしている。 ・家での子どもの問題行動、困ったことを伝えてもらい、対策・課題を考えている。	
	㉖	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	5		・相談や困り事があればすぐに話を聞き、対応している。 ・相談等あった場合等、話を聞き、支援等の提案をしている。	
保護者への説明書	㉗	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5		・利用開始時に説明している。	
	㉘	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5		・年2回程度（半年に1度）を目安にモニタリングを行い、個別面談において支援内容を説明し同意を得ている。	
	㉙	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5		・定期的に面談等を行っている。 ・登園や帰園の際、電話等でも助言や支援を必要な時は行っている。	
	㉚	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	2	・未回答1	・園が主体となり、父母の会の活動を支援する予定はないが、保護者が望むのであれば検討していきたい。
	㉛	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5		・年2回の面談の他に相談があれば随時対応していくようにしている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
責任等	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5		・毎月園だよりを発行している。 ・毎月園だよりを配布している。 ・園だよりを毎月発行している。	
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	5		・事務所で保管している。	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5		・着席行動が取れなかったり、注目注視が出来ない段階での利用開始が多いので着席行動がとれ注目注視できるように支援している。	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	3	・未回答1	・園として招待できる行事を行っていないが、市で行っている避難訓練に参加したり、市民センターを利用させていただいたりしている。
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5		・毎月避難訓練を行っている ・毎月訓練を行い、備えている ・月に一度、避難訓練を行っている	
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5		・毎月訓練を行い、備えている ・月に一度、避難訓練を行っている	
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5		・事前に職員間で確認し、支援している ・お薬預かり表を提出していただいている。	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5		・アレルギーのある子には必ず指示書の提出をお願いしている。	
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	1		・事例集は作成していないので、全職員で分かりやすく周知できるようにしていきたい。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5		・研修等を行い、学んでいる。 ・研修がある。	
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4	1	・現在、身体拘束が必要な児はいない。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。